

1st day
AM

第3会場●2F 第4研修室

■司 会／石原 玉絵 福岡県教育庁福岡教育事務所生涯学習課 社会教育主事
佐々木 直 島根県立西部生涯学習推進センター 社会教育主事

1 「子ほめ条例」の制定と「子ほめの里」づくり 10:45～11:10

－子どもを見守る視点の拡大と地域一体の健全育成－

平岡 敏彦（大分県前津江村） 前津江村社会教育課 課長

平成12年、日本社会を騒がした数々の青少年犯罪を視野に入れた「子ほめ条例」が制定された。子どもの長所・特性を発見して、積極的な評価を与え、子ども達の自信や誇りを培う事を目標としている。地域の大人たちは、評価の視点を十分に理解して、子ども達をよく見守る事が前提である。表彰項目（視点）は、「奉仕賞」、「健康賞」、「親切賞」、「学芸賞」、「体育賞」、「努力賞」、「創造賞」、「勤労賞」、「読書賞」、「友情賞」、「明朗賞」である。小中学校の表彰は全員に行き渡る。

2 広域市町村における異業種・異年齢サークルによる沖縄文化伝承の試み 11:10～11:35

－「うちなーぐちサークル かじまやー仲間(しんか)」－

大谷 高子（沖縄県糸満市） 沖縄県生涯学習コーディネーター

沖縄県広域学習サービス事業「うちなーぐち講座」の受講後、修了生の要望が高まって交流・学習のためのサークルを結成する事となった。会員は異業種、異年齢で広域の9市町村から集まっている。主たる活動内容は、学習を通して沖縄文化を自ら楽しむと共に、次の世代に伝えて行く事である。具体的成果としては沖縄方言普及協議会の教本「はじみらな うちなーぐち」の教材用テープの録音に協力し、合わせて2002年11月には沖縄芝居の上演に漕ぎ着けた事である。

3 「集落民会議」の提唱と相互支援プログラムの創設 11:35～12:00

－「柳谷高校生クラブ」を中核とした総合的地域活動－

豊重 哲郎（鹿児島県串良町） 柳谷自治公民館 館長

柳谷地区は、「土着菌センター」によって、生ゴミの排出をゼロとし、堆肥を活用した自然農業でも知られているが、平成11年の中学生の暴力事件の反省を契機として青少年育成のための集落民会議を結成した。活動の核として柳谷公民館を拠点として高校生クラブを創設した。「からいも生産活動」の収益金を活用して、自治公民館に「寺子屋」を開設し、学力の低下防止に努めている。活動は地域ぐるみの「こえかけ運動」から、高齢者の「孤独死」の防止にまで広がり、高校生が有線放送を活用して、他郷で暮らす子ども達のメッセージなどを「母の日」、「父の日」、「敬老の日」などに朗読放送し、地域住民に感謝されている。

4 総括討論 12:00～12:30